

## 太田市産業環境フェスティバル・消費生活展へ出展

11月11日(日)太田市新田文化会館にて、太田市産業環境フェスティバル・消費生活展が開催され、当社も出展いたしました。

当社ブースでは、地域・環境活動の取組みのご紹介のほか、国内ELEMEX発電機2機種、ENGEL冷蔵庫3機種を展示いたしました。ご来場いただいた方から熱心な質問・意見が寄せられ、当フェスティバルを通して地域の皆様と交流を深めることができました。



## 株式の状況 (2012年9月30日現在)

①発行可能株式総数	80,000,000株
②発行済株式の総数	21,610,000株
	(自己株式 28,596株を含む)
③株主数	3,049名
④大株主	

株主名	持株数	持株比率
日野自動車株式会社	6,535 <sup>千株</sup>	30.28%
株式会社デンソー	2,000	9.26
本田技研工業株式会社	1,300	6.02
株式会社三井住友銀行	600	2.78
澤藤電機従業員持株会	525	2.43
株式会社りそな銀行	500	2.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	400	1.85
三井住友信託銀行株式会社	300	1.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	253	1.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	251	1.16

(注) 持株比率は自己株式(28,596株)を控除して計算しております。

## 会社概要 (2012年9月30日現在)

■ 英文社名  
SAWAFUJI ELECTRIC CO., LTD.

■ 設立  
1919年5月10日

■ 資本金  
1,080,500千円

■ 事業内容  
当社は下記製品の開発・製造・販売を行っております。

● 電装品  
主としてディーゼルトラック・バス用電装品であります。このほか汎用・船用電装品及び油圧機器用小型DCモーターも扱っております。

● 発電機  
可搬式発電機及び同製品用発電機です。

● 冷蔵庫  
各種車両用及び船舶用電気冷蔵庫です。

■ 事業所  
本社・新田工場  
群馬県太田市新田早川町3番地

## ■ 役員 (2012年9月30日現在)

代表取締役社長	上 田 英 樹
専務取締役	山 谷 光 正
常務取締役	小 原 賢 二
常務取締役	田 中 幸 二
常務取締役	瀬 尾 信 一 郎
常務取締役	中 川 幸 宏
取 締 役	市 川 正 和 *1
取 締 役	遠 藤 真 *1
取 締 役	金久保 康 夫
取 締 役	渡 部 尚 由 紀
取 締 役	加 藤 芳 宏
常 勤 監 査 役	藤 尾 清 彦
監 査 役	宮 木 正 彦 *2
監 査 役	梶 川 宏 之 *2
監 査 役	久 米 原 宏 之 *2
監 査 役	登 坂 孝 之

\*1 社外取締役  
\*2 社外監査役

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月下旬  
 基準日 3月31日  
 定時株主総会の議決権 3月31日  
 期末配当金 9月30日  
 中間配当金  
 公告方法 以下の当社ホームページにて電子公告により行います。  
<http://www.sawafuji.co.jp/>  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。  
 上場金融商品取引所 東京証券取引所

## INFORMATION

## 株主優待制度のご案内

## 1. 株主優待の方法

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様で、かつ1,000株以上保有する株主様に対し、QUOカードを年1回、以下の基準により贈呈いたします。

## 2. 優待内容

1,000株以上5,000株未満保有の株主様	1,000円分
5,000株以上保有の株主様	3,000円分

## 3. 贈呈時期

毎年6月の定時株主総会後に発送いたします。

株主の皆様が読みやすい冊子にするため、この中間株主通信ではユニバーサルデザイン書体を使用しています。

## 第117期 中間株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日



SAWAFUJI  
澤藤電機株式会社

証券コード：6901

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第117期連結会計年度における中間株主通信（2012年4月1日から2012年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコカー補助金効果や東日本大震災の復興需要等から緩やかな回復基調がみられたものの、海外は欧州の債務危機問題を端緒とする金融不安、中東情勢の混乱、中国経済の減速等により景気に停滞感が強まりました。

このような状況のなかで、当社グループは、アジア市場の拡大に対応したグローバル生産体制の着実な立上げ等により、ものづくりの構造改革に努めてまいりました。

その結果、売上高は、図表1「四半期連結損益計算書」に記載のとおり、円高基調の継続により前年同期と比べ77百万円減の148億36百万円となりました。また、利益面では、為替円高の影響、売上減に伴う減益、海外子会社設立の費用増のため、営業利益は1億31百万円と前年同期と比べ2億38百万円減少し、経常利益は2億円減の1億15百万円、四半期純利益は前年同期比99百万円減の1億62百万円となりました。

また、直前4事業年度の第2四半期連結累計期間の売上高及び損益の状況は、図表2「連結決算ハイライト」をご高覧いただきたいと存じます。

株主の皆様への利益還元は、経営の重要課題のひとつでございますが、会社の経営環境及び今後の事業展開を考慮し、2012年9月30日を基準日とした当第2四半期末配当金につきましては、見送りさせていただくことといたしました。株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、一層の収益向上に邁進してまいります。

当連結会計年度（2012年4月1日から2013年3月31日までの12ヶ月間）の連結業績につきましては、米国経済の動向や、欧州財政危機の長期化、中国やその他の新興国の景気減速といった点に注視していく必要があります。収益面におきましては、為替円高や資源価格の不安定さなどによる厳しい経営環境と認識しております。

以上の状況を踏まえつつ、新興国市場での販売の更なる拡大を目指すとともに、一層の体質改善を推進し、収益の確保を目指します。

株主の皆様には、今後とも従前と変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

上田 英樹

## 四半期連結財務諸表(要旨)

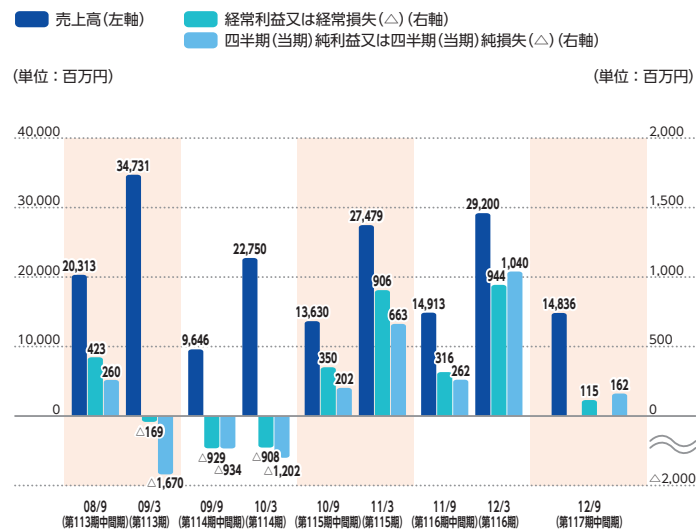
### 四半期連結損益計算書 (図表1)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2012年4月1日 至2012年9月30日	自2011年4月1日 至2011年9月30日
売上高		14,836	14,913
売上原価		13,570	13,540
売上総利益		1,265	1,372
販売費及び一般管理費		1,133	1,002
営業利益		131	370
営業外収益		73	66
営業外費用		89	120
経常利益		115	316
特別利益		0	0
特別損失		13	18
税金等調整前四半期純利益		102	297
法人税等		△56	28
少数株主損益調整前四半期純利益		159	269
少数株主利益又は少数株主損失(△)		△3	7
四半期純利益		162	262

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

### 連結決算ハイライト (図表2)



### 四半期連結貸借対照表 (図表3)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結会計期末	前連結会計年度末
		2012年9月30日	2012年3月31日
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		11,125	10,784
固定資産		5,806	6,523
有形固定資産		2,893	2,811
無形固定資産		238	241
投資その他の資産		2,675	3,470
資産合計		16,932	17,307
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		8,397	8,116
固定負債		3,217	3,470
負債合計		11,614	11,587
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		3,856	3,759
資本金		1,080	1,080
資本剰余金		117	117
利益剰余金		2,666	2,568
自己株式		△7	△7
その他の包括利益累計額		1,335	1,835
その他有価証券評価差額金		1,408	1,916
為替換算調整勘定		△73	△81
少数株主持分		125	125
純資産合計		5,317	5,720
負債純資産合計		16,932	17,307

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (図表4)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2012年4月1日 至2012年9月30日	自2011年4月1日 至2011年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		144	△178
投資活動によるキャッシュ・フロー		△163	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー		△66	△167
現金及び現金同等物に係る換算差額		5	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△79	△548
現金及び現金同等物の期首残高		1,863	1,255
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,783	706

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。